

MICE参加者向けサステナブルな体験コンテンツ開発及び事務局業務委託 質問と回答

	質問受付日	質問	回答日	回答
1	7月29日	(3)コンテンツ開発及び選定業務 福岡市内で実施可能なコンテンツのみ開発の対象となりますか？	8月2日	提案協議審査で提案いただく2件については、福岡市内で実施可能なコンテンツをご提案ください。賛助会員から募集する3件については、福岡市外で実施するものも選択する可能性があります。
2	7月29日	(4)コンテンツ提供事業者への経費支給業務 募集する3件の開発費500千円程度は、今回の総事業費4,000千円の内数でしょうか？それとは別に支給されるものでしょうか？	8月2日	募集する3件の開発費500千円程度は、今回の総事業費4,000千円の内数となります。つきまして、総事業費のうち500千円程度は、コンテンツ提供事業者への経費支給分として確保ください。
3	7月29日	(3)コンテンツ開発及び選定業務 / (4)コンテンツ提供事業者への経費支給業務 提案者からのコンテンツ案2件についても、開発経費計上可能でしょうか。	8月2日	提案者からの2件についても想定される開発経費を試算し見積書へ計上してください。募集する3件の開発費500千円程度も提案者からの提案2件の開発経費も総事業費4,000千円の内数となりますことご留意ください。
4	7月29日	(5)研修業務 「甲職員へ各コンテンツの体験・研修」とは、プロモーションされるにあたってコンテンツの理解を深めるための、体験会（モニター）のような想定でしょうか。	8月2日	コンテンツの理解を深めるために内容を説明をいただきながら、実際にコンテンツを体験し商品としての最終確認を行うことを想定しています。
5	7月29日	(6)情報発信方法の提案 どのような手法で、主催者に対するプロモーションを行なっていく計画でしょうか。（例えば、プログラムガイドを印刷して配布、または、メールで配信するなど。）	8月2日	MICE見本市、商談会等へ参加や旅行会社等を訪問しセールス・プロモーションを実施しています。その際にプログラムガイドを印刷して配布したり、フォローセールスとしてメールで配信等を行っています。現状は上記のような対応ですが、既存の手法にとらわれず、MICE主催者への情報発信として効果的な手法を提案協議審査にてご提案ください。
6	7月29日	(6)情報発信方法の提案 情報発信のために実際に発生する費用も見積書に計上する必要がありますでしょうか？	8月2日	今回は情報発信方法の提案をお願いしていますので、情報発信のために実際に発生する費用は見積もりに計上する必要はありません。効果的な情報発信方法をご提案ください。
7	7月29日	(7)体験プログラムガイド作成業務(成果物) 「福岡体験プログラムガイド」の配布先（ターゲット）・配布方法の想定はありますか？	8月2日	ターゲットは、国内外の旅行会社、ランドオペレーター、MICEプランナー、MICE施設等を想定していますが、それ以外のターゲットもあれば「(6)情報発信方法の提案」でご提案ください。また配布方法についても「(6)情報発信方法の提案」でご提案いただく内容を参考にし今後決定していく予定です。
8	7月29日	(7)体験プログラムガイド作成業務（成果物） 現行のプログラムガイドには、42個のコンテンツ掲載がございますが、新規開発の5件程度を含め、合計何コンテンツとして、プログラムガイドを改訂していく予定でしょうか？	8月2日	今後事務局を受託された事業者の皆さんと協議しながら「体験プログラムガイド」に掲載するコンテンツ数は調整を行いたいと思っておりますが、現段階では最大数の47件（42件+5件）で見積もり等検討いたします。
9	7月29日	(7)体験プログラムガイド作成業務（成果物） 改编版「福岡体験プログラムガイド」の想定ページ数はございますか？現行版との相違幅に許容範囲があれば教えてください。 (実際の印刷にかかる費用を、ある程度考慮したご提案にしたいため。)	8月2日	ページ数についてもコンテンツ数同様、今後協議のもと調整を行いたいと思いますが、見積もりの際は、現状の29ページでご試算ください。なお、当財団のホームページに掲載している体験プログラムガイドと本公募の募集要領からダウンロード可能な体験プログラムガイドではページ数など異なりますので、見積もり等確認に際しては、必ず以下リンクより体験プログラムガイドをダウンロードください。 <募集要領に記載のダウンロードリンク> https://4.gigafile.nu/0923-b7c91d00bb14e85eeedd602249076b970